戦略 3　未来の交流を創り、支える観光・交通戦略

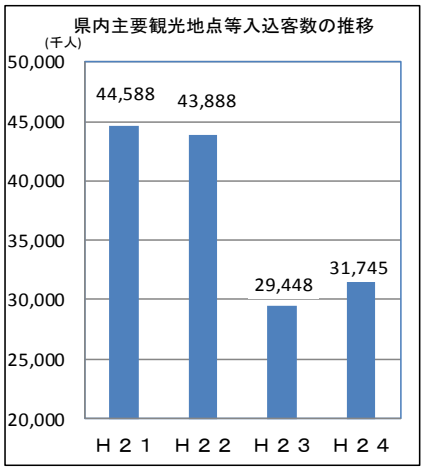
１　現状と課題

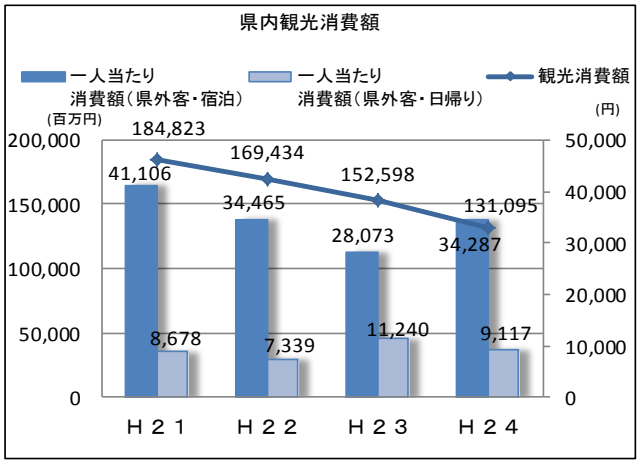
（１）観光

県内主要観光地点等入込客数等を見ると、震災による本県への影響は底を打ちつつあるものの、観光消費額は依然として回復していないことから、本格的な回復に向けては、今なおその途上にあり、特に観光事業者は厳しい経営環境に置かれています。

この要因としては、消費者ニーズに対応した観光地づくりや受入態勢が十分ではないこと、多くの観光客を引き付ける誘客力の不足によりリピーターを十分に確保できていないこと、時代変化に応じたビジネスとしての観光の仕組みづくりに遅れが生じていること等が挙げられます。

このため、ビジネスとして継続する観光を目指し、「総合戦略産業としての観光の重点推進方針」に基づく取組を一層加速させ、マーケットに訴求力のある観光資源づくりや多様な分野との連携による交流の拡大、民間事業者と一体となった取組態勢の構築を進める必要があります。



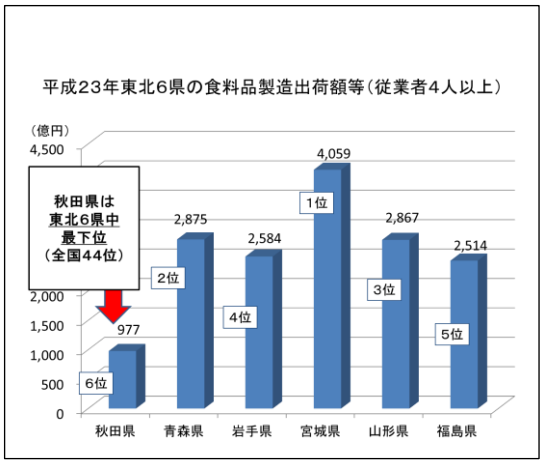


（出典）県・観光戦略課「秋田県観光統計」※H23 以降統計基準変更

（２）食品産業

食品産業は、原料の生産から最終製品までを県内で完結できる数少ない業種であり、農産物の利用や雇用の拡大の視点から、今後の振興が期待されているものの、本県の食料品製造出荷額等は東北最下位となっています。

これは、本県が優良な米の生産と販売に特化してきた経緯等から、食品加工への取組が根付かなかったためと考えられ、結果として、本県の食品産業は、地場消費を中心とした小規模事業者主体の構造となっています。



（出典）総務省統計局・経済産業省「経済センサス活動調査」

このため、意欲ある食品事業者の育成とネットワーク化を促進し、首都圏等の大消費地への情報発信力やマーケティング力の強化を図ることによって、流通構造の変化を含むマーケットの動向や消費者のニーズに対応した商品づくりと、国内外への売り込みの強化が必要となっています。

（３）文化振興

本県では、音楽やアートで地域を元気にする取組が顕著になってきており、平成26年度の国民文化祭の開催を契機として民間団体等と一体となった取組を更に充実させ、地域の文化力を高めていく必要があります。

また、老朽化した秋田県民会館に替わる新たな文化施設の整備を進め、県民の芸術鑑賞や文化活動の発表の機会を充実させるほか、まちのにぎわい創出を図る必要があります。

「秋田文化ルネサンス」宣言

（４）スポーツ振興

秋田わか杉国体での主力選手の引退や、少子化による競技人口の減少等により、国体における成績が低迷（平成25年天皇杯39位）していることから、選手の育成及び指導者の資質向上を図るとともに、ジュニア期からの一貫指導体制の確立が必要です。

また、スポーツを通じて、県民が健康で生き生きとした生活を送るための環境を整えるほか、地域住民の誰もがいつでも気軽にスポーツができる、総合型地域スポーツクラブの設立及び安定した運営基盤づくりへの支援が必要です。

「スポーツ立県あきた」宣言

さらに、交流人口の拡大による地域の活性化を図るため、全国規模・国際規模のスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致など、スポーツを活用した地域のにぎわい創出を図る必要があります。

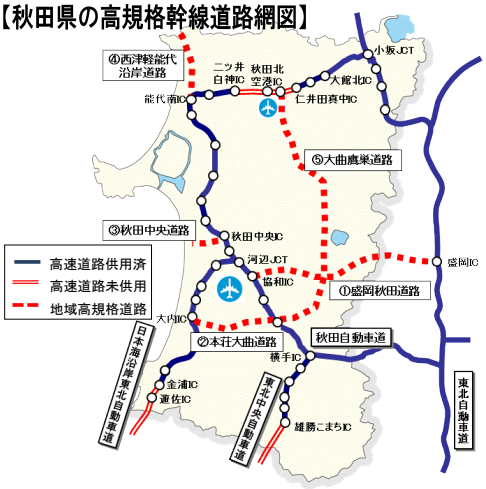
（５）高速交通網の整備促進と利便性の向上等

県内高速道路については、全線開通に目処がついたところであり、今後は早期開通に向けて、整備を促進する必要があります。

このほか、整備水準が低い地域高規格道路等の県内外主要都市間を結ぶ幹線道路については、地域間交流を促進する上で重要であることから、一層の整備を推進する必要があります。

また、国内定期便や韓国国際定期便の利用を促進し、航空路線の充実を図るとともに、人口減少や高齢化社会に対応した生活交通の維持確保、観光客に対する二次アクセスの整備等も進めていく必要があります。

【秋田県の高規格幹線道路網図】



高　速　道　路	供用率８３％	全線開通に目処！
地域高規格道路	整備率約６％	整備が進んでいない！

※地域高規格道路：高速道路と一体となって高速交通体系を築き、
地域相互の交流促進・連携強化を図る質の高い道路

２　戦略の目標（目指す姿）

秋田のトータルイメージの定着や選ばれる観光地づくりを進め、交流の活性化を図り、企業や地域の主体的な経済活動によるビジネスとして継続・成長していく総合戦略産業としての観光を推進します。

また、意欲ある食品事業者群の育成と食品産業関連業種のネットワーク化を促進することにより市場ニーズに対応した商品づくりを強化し、ターゲットと地域を明確化した戦略的なプロモーションを展開することで、食品産業の振興を図ります。

さらに、地域における文化力を高めるとともに、スポーツを秋田の活力と発展のシンボルとして積極的に振興するほか、それらを活用した交流人口の拡大を促進します。

併せて、活発な交流を促進する県土づくりの推進や交通ネットワークの充実を図るほか、地域住民の日常生活に必要な生活交通を確保します。

３　戦略の視点

マーケットに着目し、環境に左右されにくい観光と食の魅力づくりの推進、交流を生み出す文化やスポーツ等の振興、活発な交流を支える交通基盤の充実・強化など、関連する分野を一体的に捉え、これを有機的に結び付けながら、誘客ビジネスとして結実させ、付加価値・生産性の向上により地域経済への波及効果の高い取組を進めていくため、本戦略は次の６つの施策から構成されています。

横手市増田の「内蔵」

４　戦略を構成する施策

３－１　ビジネスとして継続・成長していく総合戦略産業としての観光の推進　（Ｐ95）

【施策の方向性】
① お客様目線を重視したビジネスとして継続・成長していく観光産業の形成　（Ｐ95）
② お客様と秋田への観光を結び付けるネットワークづくり　（Ｐ96）
③ 多様な分野との連携　（Ｐ98）
④ 県を挙げた取組態勢の再構築　（Ｐ98）

３－２　秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大　（Ｐ101）

【施策の方向性】
① 県外市場にチャレンジする食品事業者群の育成　（Ｐ101）
② 市場ニーズを先取りした秋田オリジナルな商品開発　（Ｐ102）
③ ターゲットや地域を明確にした戦略的プロモーション　（Ｐ102）

３－３　秋田の文化力の更なる向上による地域の元気創出（Ｐ105）

【施策の方向性】
① 県民参加による国民文化祭の実施　（Ｐ105）
② 文化による交流人口の拡大　（Ｐ105）
③ 文化の継承と創造　（Ｐ106）
④ 文化活動の拡充とにぎわい創出を図る新たな文化施設の整備の推進　（Ｐ107）

３－４　「スポーツ立県あきた」の推進（Ｐ109）

【施策の方向性】
① 全国や世界のひのき舞台で活躍できる選手の育成と強化　（Ｐ109）
② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進　（Ｐ110）
③ スポーツを活用した地域の活性化　（Ｐ111）
④ 住民が主体的に参画できる地域のスポーツ環境の整備　（Ｐ112）

３－５　県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進　（Ｐ115）

【施策の方向性】
① 高速道路ネットワークの早期完成　（Ｐ115）
② 高速道路を補完する幹線道路ネットワークの形成　（Ｐ115）
③ 地域間ネットワークの構築　（Ｐ116）
④ 生活道路の機能強化　（Ｐ116）

３－６　交通ネットワークの利便性向上と地域交通の確保　（Ｐ118）

【施策の方向性】
① 交通機関の利便性向上と航空ネットワーク機能の強化　（Ｐ118）
② 第三セクター鉄道等の持続的運行の確保と活用促進　（Ｐ119）
③ 生活バス路線など地域の実情に合った交通手段の確保　（Ｐ120）

施策３－１　ビジネスとして継続･成長していく総合戦略産業としての観光の推進

１　施策のねらい

本県観光を、ビジネスとして継続・成長していく総合戦略産業とするため、マーケットに着目し、外部情勢の変化に左右されにくい足腰の強い観光地づくりを進めるとともに、近隣県をはじめ県外から多くの人を呼び込み、かつ県内の流動を促進することにより、マーケットの拡大を図りながら、多様な分野とも連携し、地域経済への波及効果を高めていきます。

２　施策の視点

重点エリアの観光再構築に向けた協議の中で、明らかになった課題や今後の方向性等を踏まえ、お客様が秋田の何に満足するのかを見極め、質の高い観光サービスを提供するとともに、意欲ある事業者の取組を支援し、秋田の観光が事業として成り立つよう、人の流動を経済的価値に変える仕組みづくりを促進し、観光による消費の増加を図ります。

このため、次の４つの方向性に取り組みます。

３　施策の方向性と取組

方向性①：お客様目線を重視したビジネスとして継続・成長していく観光産業の形成

取組①：地域が主体となった観光地づくりの促進

重点エリアの観光再構築に向けた協議を踏まえ、地域の素材、埋もれている資源の丁寧な掘り起こしとブラッシュアップなど、地域が主体となった取組や事業としての仕組みづくりを促進します。

【主な取組】

・歴史的価値のある資源の観光利用と受入態勢整備の促進
　（角館の武家屋敷、増田のまちなみ等）
・地域が連携した観光ルートの確立や観光案内人（ガイド）
　の資質向上（白神山地、鳥海山麓等）
・地域の伝統芸能･伝統食を活用した誘客活動の促進
・市町村未来づくり協働プログラムを活用した魅力ある観光地づくりの推進

角館の武家屋敷

取組②：観光客のニーズにあった受入環境の充実

地域観光を支える宿泊施設等のレベルアップや観光案内機能の強化など、観光客のニーズにあった受入環境の充実を図ります。

【主な取組】

・新しいマーケットに対応した魅力ある民間観光宿泊施設等のあり方の検討
・「総合観光情報デスク（仮称）」の設置
・宿泊施設等での充実した観光案内サービスの提供

・二次アクセスの充実と分かりやすい観光案内表示の整備
・県有観光施設の魅力向上

取組③：秋田の多彩な資源を活用したビジネス展開

地域の多彩な資源の活用を促進し、新しいタイプの体験型旅行企画の開発など、多様なビジネス展開を促進します。

【主な取組】

・観光事業者と農家等が連携した誘客の促進
・食、農資源等の地域素材を活用したビジネス展開の促進
・県外からの教育旅行の誘致
・歴史的遺産や培われた技術等を活用した産業観光の推進
・ペット観光の推進
・秋田らしい新たなツーリズムや統合型リゾート構想等の新しい事業モデルの研究促進

取組④：ビジネスとしての観光を支える人材の育成

秋田の観光が事業として継続していくために、地域のリーダーなど、必要な人材の育成を進めます。

【主な取組】

・地域をリードする経営者の育成
・接遇力、営業力等スキルを持った人材の育成
・観光案内人（ガイド）の資質向上（再掲）※施策３－１方向性①取組①

白神山地の観光案内

方向性②：お客様と秋田への観光を結び付けるネットワークづくり

取組①：秋田ファンの拡大

「あきたびじょん」で表現した秋田のイメージに基づき、様々な媒体を活用して秋田の魅力をアピールすることにより、秋田のファン層の拡大を図ります。

【主な取組】

・マスメディアに対する広報活動の展開
・雑誌・動画による具体的な魅力の発信
・ソーシャルメディア（※）を活用した情報交流の推進

ＦＢページ
「あきたびじょんプロジェクト」

※インターネット上で、ユーザー同士が情報を交換（送受信）することによって成り立っているメディア。
Facebook（フェイスブック）や Twitter（ツイッター）、LINE（ライン）など。

取組②：マーケットとの新しいコミュニケーション手法の確立

観光客など、受け手の反応を踏まえた情報発信や利用者同士の情報交換、口コミ等で拡散する情報交流の仕組みづくりを推進します。

【主な取組】

・秋田県観光総合ガイド「あきたファン・ドッと・コム」のリニューアル

・ソーシャルメディアを活用した情報交流の推進（再掲）※施策３－１方向性②取組①
・秋田の情報を発信するキーマンの活用
・口コミ情報とインターネットや雑誌等のランキングの活用
・県民による自発的な秋田の情報発信の促進

取組③：県内流動や近隣県等との交流の活性化

県内流動や近隣県等との交流を活性化させ、多くの人を本県に呼び込み、マーケットの拡大を図ります。

【主な取組】

・県内観光地に対する県民の認知度向上と県内観光のきっかけづくり
・隣県観光地との広域連携による周遊観光の推進
・首都圏等主要マーケットでのプロモーション活動の実施
・コンベンションの誘致及び創出の促進
・航空路線を活用した県内観光地への利便性のアピール

取組④：ターゲットを絞った外国人観光客の誘致促進

韓国、台湾、タイ等をターゲットとした訪日観光客の誘致を促進します。

【主な取組】

・誘客プロモーションの積極的な展開（トップセールス、広域連携等）
・現地消費者向け事業の強化（広告宣伝、メディア招聘、旅行博出展等）
・現地旅行会社向け事業の強化（旅行会社招聘（へい）、広告支援、旅行博出展･商談会開催等）
・ソーシャルメディアを活用した情報交流の推進（再掲）※施策３－１方向性②取組①及び②
・Wi-Fi 環境等の整備促進
・国内外国人（企業等の駐在員や留学生等）への情報発信
・メディア戦略と国内外のキーマンを活用した誘客促進態勢の整備
・羽田空港や成田空港等の利用者や国内著名観光地を訪問している外国人を対象とした「次は秋田へ」プロモーションの実施
・海外からの教育旅行の誘致促進

取組⑤：人的ネットワークの活用

多様な分野で活躍する多彩な秋田人や秋田に高い関心を有する人とのネットワークを活用し、県への観光誘客に結び付けていきます。

【主な取組】

・あきた美彩館等を核とした「秋田夜学（仮称）（※）」の開催など、食を切り口とした観光誘客の促進
・秋田の情報を発信するキーマンの活用（再掲）※施策３－１方向性②取組②
・県民による自発的な秋田の情報発信の促進（再掲）※施策３－１方向性②取組②
・「あきた美の国大使」等による魅力発信

※食を味わいながら秋田をテーマにして語る交流会。

方向性③：多様な分野との連携

取組：多様な分野との連携の促進

観光や「食・農」「文化」「スポーツ」「交通」など、多様な分野との連携による誘客ビジネスを展開します。

【主な取組】

・食を切り口とした誘客の促進
・文化によるにぎわいの創出
・鉄道の観光資源としての活用
・「グリーン・ツーリズム」等体験型旅行の振興
・スポーツによる交流人口の拡大

方向性④：県を挙げた取組態勢の再構築

取組①：民間事業者等が主体となった事業展開の促進

意欲にあふれ、新しい事業に果敢に挑戦する事業者のビジネスとしての事業展開を促進します。

【主な取組】

・地域の観光を支える若手リーダーの育成･強化
・集客を県内消費の増加に結び付けるビジネスとしての仕組みづくり
・事業活動の自由度を高めるための規制、基準等の見直し
・新しいマーケットに対応した魅力ある民間観光宿泊施設等のあり方の検討（再掲）※施策３－１方向性①取組②

観光秋田未来塾の様子

取組②：秋田県観光連盟の組織体制・機能の強化

受入態勢の整備や効果的な情報発信、誘客宣伝活動等を推進するため、組織体制の強化や民間事業者の意向を反映した組織運営、事業者と一体となった事業の実施等を推進します。

【主な取組】

・新規会員の拡大と財源基盤の強化
・民間アドバイザーの配置等による体制強化
・県内施設の巡回指導の実施
・会員事業者の取組への支援

取組③：秋田のおもてなしの実践

思い出に残る秋田のおもてなしの実践により、リピーターの獲得や口コミ情報の拡散等を図り、更なる誘客を目指します。

【主な取組】

・おもてなし運動の実施の継続・拡充
・宿泊施設でのおもてなしの充実
・観光関連施設従業員の「秋田ふるさと検定」一級の取得促進

秋田ＤＣ(H25)のお出迎え風景

４　施策の数値目標

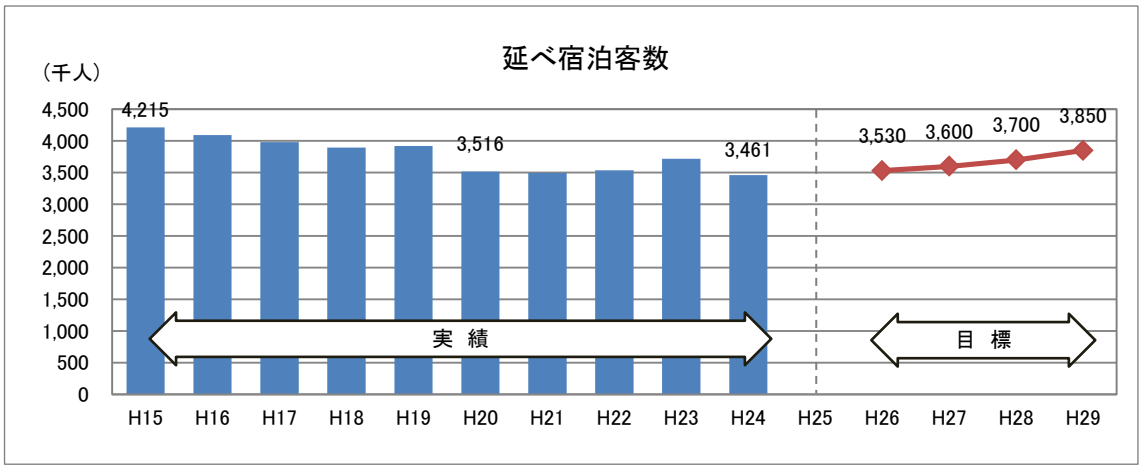
（１）代表指標

①延べ宿泊客数

ビジネスとして継続・成長していく産業としての観光を育成することとしており、地域への波及効果が大きい県内への宿泊者数を示す「延べ宿泊客数」を指標とします。

（単位：千人）

現状値(H24)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
3,461	3,530	3,600	3,700	3,850



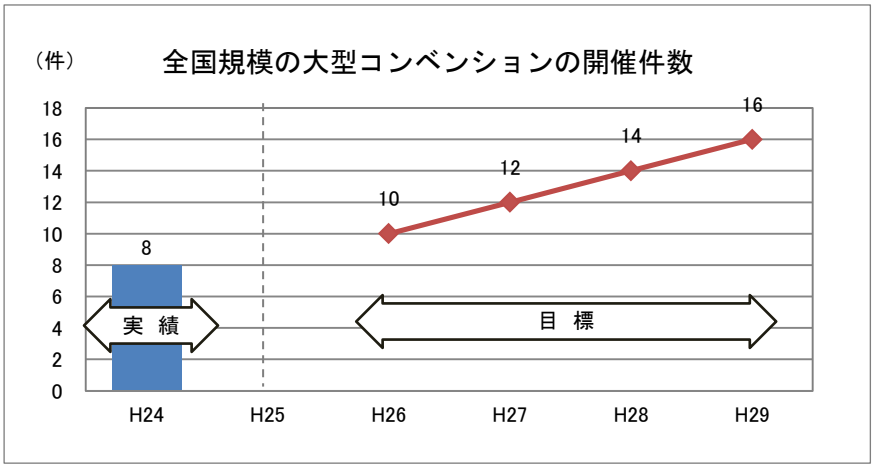
（出典）県・観光戦略課「秋田県観光統計」
※H23 以降統計基準変更

②全国規模の大型コンベンションの開催件数（県外宿泊客数おおむね500人以上）

交流人口の拡大による集客ビジネスの推進を図ることとしており、多くの人が訪れ、情報発信力も大きい「全国規模の大型コンベンションの開催件数」を指標とします。

（単位：件）

現状値(H24)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
8	10	12	14	16

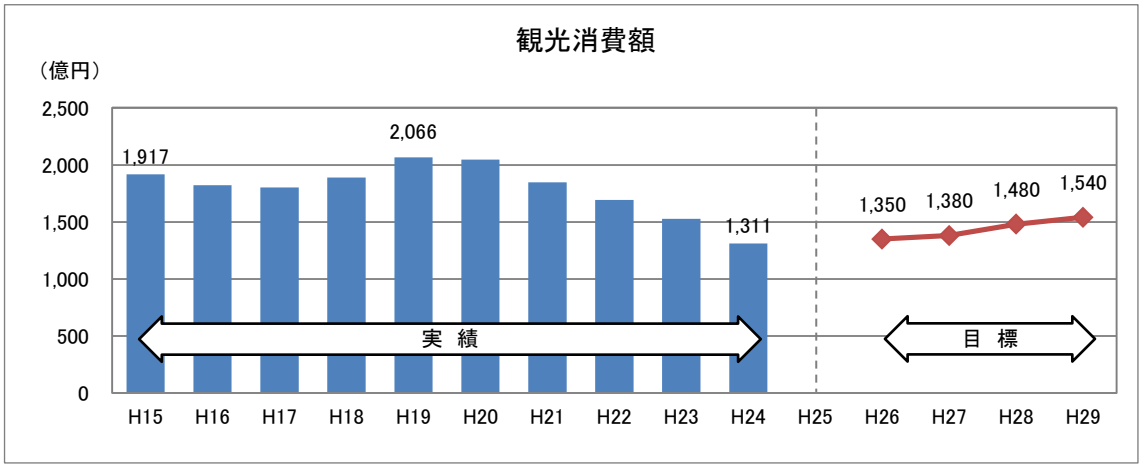


（出典）県・観光振興課調べ
※H23 以前は集計データなし

（２）関連指標

指　標　名	指標が示すもの	単位	現状値(H24)	目標値(H29)
観光消費額	観光による消費額	億円	1,311	1,540
宿泊業、飲食サービス業の売上高の全国に占める割合	関連業種の売上高の全国比較	%	0.65	0.71
外国人宿泊客数	外国人の来訪状況	人	23,930	45,000
「じゃらん宿泊統計調査」における来訪者の満足度	受入態勢の充実	位	23	10
ウェブサイトへのアクセス数（あきたファン・ドッと・コム）	観光情報へのアクセス状況	件/月	55,700	84,600

◎主な関連指標のグラフ



（出典）県・観光戦略課「秋田県観光統計」
※H23 以降統計基準変更

施策３－２　秋田の食の魅力の磨き上げと県外への販路拡大

１　施策のねらい

意欲ある食品事業者群の育成と食品産業関連業種のネットワーク化を促進することにより市場ニーズに対応した商品づくりを強化し、ターゲットと地域を明確化した戦略的なプロモーションを展開することで、食品産業の振興を図ります。

特に、大消費地である首都圏等への戦略的な売り込みを図るほか、経済発展の著しい東アジア等への農産物、清酒、加工食品の輸出についても取組を強化します。

２　施策の視点

本県の強みをフル活用した秋田オリジナルな商品開発を促進し、県外や海外のマーケットへ果敢に挑戦する食品事業者群の拡大を図るとともに、商品開発をめぐる様々な課題の解決に当たっては、川上から川下まで関連する事業者・生産者等が連携して対処することが効果的であることから、県内食品産業界のネットワーク化を推進する必要があります。

このため、次の３つの方向性に取り組みます。

３　施策の方向性と取組

方向性①：県外市場にチャレンジする食品事業者群の育成

取組①：意欲ある食品事業者群の育成

県外への進出に意欲のある事業者にスポットを当て、消費者ニーズやマーケット分析等に関する研修会を開催するとともに、県内の食品加工機能の拡充に向けた支援を行い、県内食品事業者の育成や異業種からの新規参入の拡大を図ります。

【主な取組】

・マーケティング力強化のための研修会の開催等
・県内食品加工機能の拡充に資する食品加工設備の導入支援
・異業種からの新規参入促進への支援

マーケティング塾

取組②：食品事業者の活動を支える仕組みづくり

食品加工に直接携わる事業者のみならず、原料生産から商品企画、流通販売まで、関連業種のネットワーク化を図ることで、県内食品産業界の課題解決力の向上を目指します。

【主な取組】

・食品産業を支えるサポートネットワークの構築
・農商工応援ファンド、秋田の食農観マッチングネット等による農商工連携の推進

取組③：食の安全の確保

県内の食品事業者を対象に、「秋田県版ハサップ（ＨＡＣＣＰ）認証制度」の導入支援など、衛生管理の向上に関するきめ細かなサポートを行うことにより、県産加工食品の販路拡大を支援します。

【主な取組】
・県産加工食品の衛生管理証明に関する支援
・商談会等を活用した認証制度のＰＲ
・事業者への認証制度導入のための技術指導

方向性②：市場ニーズを先取りした秋田オリジナルな商品開発

取組①：秋田を感じさせる魅力的な新商品の開発

本県独自の発酵食文化や、国内有数の自然環境でつくられる多彩な農産物など、本県の強みを生かして、安全志向・本物志向の消費者マインドに訴求できる秋田オリジナルな商品開発を強化します。

【主な取組】
・独自の発酵食文化や国内有数の環境でつくられる農産物など、本県の強みの発信と活用
・県外アドバイザーの活用による市場ニーズやライフスタイルの変化に対応した商品開発
・アンテナショップを活用したテスト販売等によるマーケティングの支援

秋田蔵付分離酵母の純米酒シリーズ

取組②：総合食品研究センターによる支援

独自の発酵技術や地場農産物等の加工技術、更には生理機能性の解明など、総合食品研究センターの技術的な知見を商品開発の現場に移転し、秋田の食のブラッシュアップをサポートします。

【主な取組】
・売れる商品づくりを意識した研究開発の推進
・技術支援や共同研究等による商品開発の支援
・研究シーズと食品事業者のニーズのマッチングによる商品開発の促進

方向性③：ターゲットや地域を明確にした戦略的プロモーション

取組①：食・物産・観光の一体的な売り込み

アンテナショップや首都圏でのイベント、物産展等を首都圏の方々とのコミュニケーションの場として活用し、食・物産・観光の一体的な売り込みを行います。

【主な取組】
・鉄道事業者等と連携した首都圏でのイベント、物産展による食・物産・観光の売り込み
・あきた美彩館等を核とした「秋田夜学（仮称）」の開催など、

アンテナショップ「あきた美彩館」
（東京都・港区）

食を切り口とした観光誘客の促進（再掲）※施策３－１方向性②取組⑤
・あきた美彩館等におけるイベント等の活発化による情報受発信の強化

取組②：観光客に対する食のおもてなし

秋田の食資源や食文化など、観光の重要コンテンツである「食」のおもてなし向上により、本県を訪れた観光客等への秋田の食のイメージアップを図ります。

【主な取組】

・発酵食文化など、本県オリジナルの食の磨き上げによる商品造成と情報発信
・インターネット上のオピニオンリーダーや高い情報発信力を有する人物によるロコミ情報など、多様な評価やネットワークを活用した県内飲食・宿泊施設における食のおもてなしの向上

取組③：ターゲットを意識したプロモーション戦略

小規模事業者主体の県内食品事業者のプロモーション活動を支援し、県内外や海外への販路拡大を促進します。

【主な取組】

・産地商談会による県内飲食・宿泊施設における県産食材・食品の利用促進
・県内中間流通業者の育成による首都圏有力店等への売り込み強化
・マッチング専門員等による県内食品事業者と首都圏大手食品メーカーや流通業者等とのマッチング支援
・経済発展の期待される東アジア等への米や果樹等の農産物や清酒、加工食品の輸出支援
・東アジア等の新たな人的ネットワークを活用した販売支援の強化

県産食材マッチング商談会

４　施策の数値目標

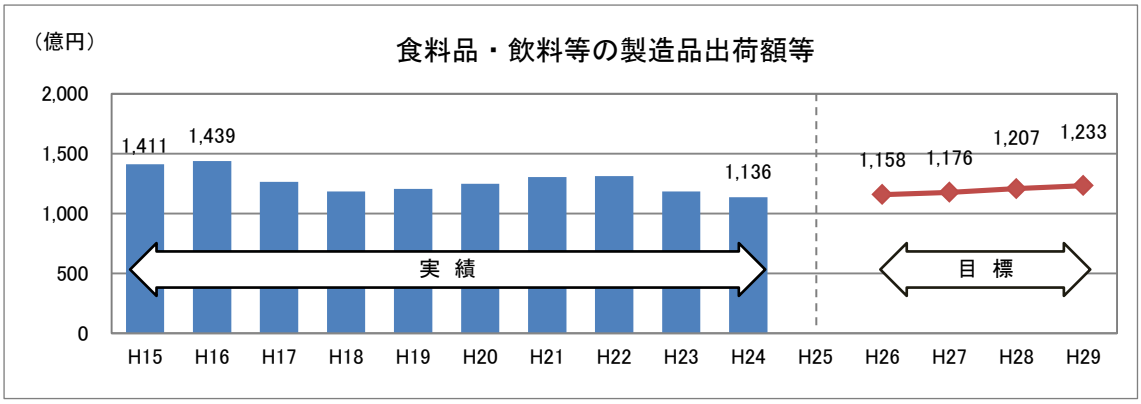
（１）代表指標

①食料品・飲料等の製造品出荷額等

食品産業の振興による経済的価値の創出の状況を示す「食料品・飲料等の製造品出荷額等」を指標とします。

（単位：億円）

現状値(H24)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
1,136	1,158	1,176	1,207	1,233



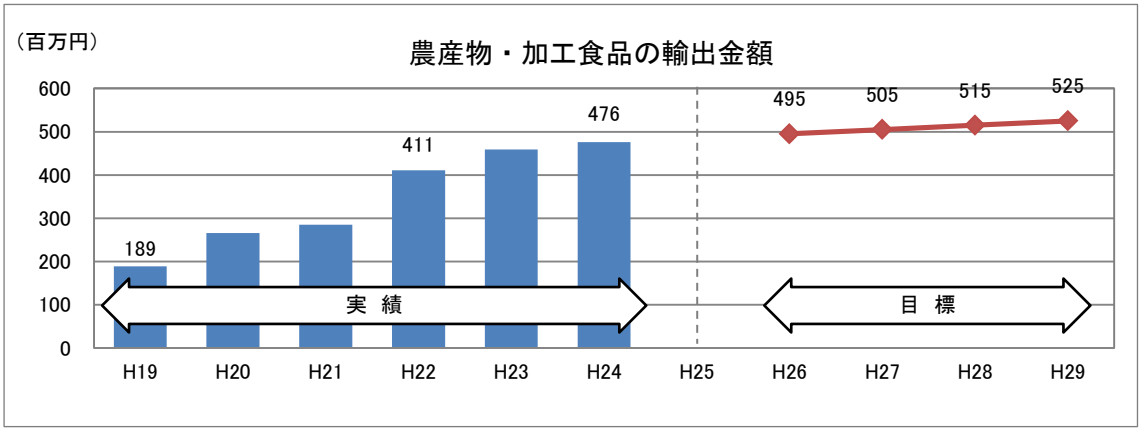
（出典）経済産業省「工業統計調査」
※H23分のみ総務省統計局・経済産業省「経済センサス活動調査」
H24分は速報値

②農産物・加工食品の輸出金額

食品産業の振興による海外市場への販路拡大の状況を示す「農産物・加工食品の輸出金額」を指標とします。

（単位：百万円）

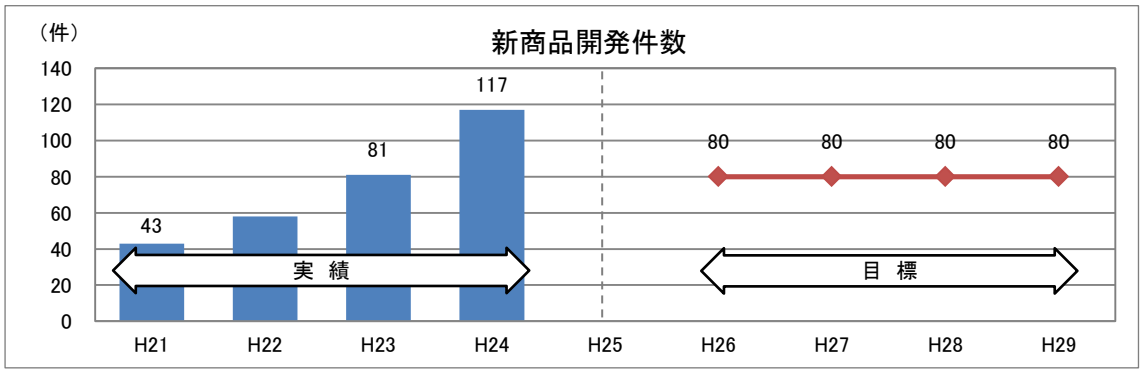
現状値(H24)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
476	495	505	515	525



（出典）県・秋田うまいもの販売課調べ
※H18以前は集計データなし

（２）関連指標

指　標　名	指標が示すもの	単位	現状値(H24)	目標値(H29)
新商品開発件数	県の支援により開発された食料品・飲料の新商品	件	117	80



（出典）県・秋田うまいもの販売課調べ
※H20以前は集計データなし

施策３－３　秋田の文化力の更なる向上による地域の元気創出

１　施策のねらい

平成26年度の国民文化祭の開催を契機に民間団体等と一体となった取組を更に充実させ、地域の文化力を高めるとともに、積極的に秋田の文化を国内外に発信し、交流人口の拡大を図るなど、文化の力で地域を元気にしていきます。

また、県民の芸術鑑賞や文化活動の発表の機会を充実させるために、老朽化し、施設機能も不十分な秋田県民会館に替わる新たな文化施設の整備を、秋田市と協働で進めます。

２　施策の視点

「あきた文化芸術フェスティバル（仮称）」の創設等により、「発表の場」を充実させるとともに、若手アーティストや伝統芸能の後継者など、若者の育成を促進するほか、秋田の文化を積極的に国内外に発信し、観光事業との連携等を図り、交流人口の拡大に貢献していきます。

このため、次の４つの方向性に取り組みます。

３　施策の方向性と取組

方向性①：県民参加による国民文化祭の実施

取組：「第29回国民文化祭・あきた2014」の開催

県民、文化団体、市町村と一体となって国内最大の文化の祭典「国民文化祭」を実施し、伝統芸能、音楽、舞踊・舞踏、文芸、アートプロジェクトなど、多彩な事業を通じて秋田の文化を全国に発信します。

【主な取組】

・イベントの開催等による県内外に対するＰＲ活動
・秋田らしさを表現した開・閉会式等の実施
・市町村・県民参加事業への支援

国民文化祭プレイベント

方向性②：文化による交流人口の拡大

取組①：アートによる地域の特色づくりの支援

「ＫＡＭＩＫＯＡＮＩプロジェクト秋田」やあきたアートプロジェクト、「アキタミュージックフェスティバル」など地域の特色を生かしながら、アートの力で地域を元気にする取組を推進します。

【主な取組】

・「ＫＡＭＩＫＯＡＮＩプロジェクト秋田」の開催支援

・あきたアートプロジェクト事業の実施支援
・「アキタミュージックフェスティバル」の開催支援
・若手アーティストの育成支援

取組②：文化資源の観光活用

音楽、美術、民俗芸能や伝統芸能など、本県が有する様々な芸術・文化資源を観光に活用するほか、芸能文化の全国大会や東北大会の誘致を進めるなど、交流人口の拡大を図ります。

【主な取組】

・地域伝統芸能全国大会など全国レベルの大会の誘致
・秋田の文化力プロモーション事業の実施

取組③：文化情報の発信強化

様々なメディアを活用し情報発信するほか、文化情報サイトの充実・強化を図ります。

【主な取組】

・情報雑誌やＳＮＳ等を活用した情報発信
・文化情報サイトの充実・強化

方向性③：文化の継承と創造

取組①：「あきた文化芸術月間（仮称）」における文化事業の実施

国民文化祭の成果を継承し、発展させるために、国民文化祭後に「あきた文化芸術月間（仮称）」を創設し、この期間中に「あきた文化芸術フェスティバル（仮称）」を中心とした文化事業を集中的に実施します。

【主な取組】

・「あきた文化芸術月間（仮称）」の創設
・「あきた文化芸術フェスティバル（仮称）」の開催

取組②：地域文化の継承支援

地域が育んできた文化を守り育て次世代に継承するため、後継者育成や発表の場の充実など伝統芸能等の継承支援に取り組むとともに、地域の文化が抱える課題にアドバイスできる体制を構築します。

【主な取組】

・地域文化に関するアドバイス体制の構築
・芸術文化振興基金補助金事業の実施

取組③：文化の顕彰事業の推進

県民の文化への関心を高め、多くの県民が文化活動に携わるなど文化の裾野を広げるために、優れた文化活動や作品を顕彰します。

【主な取組】

・秋田県芸術選奨事業の実施
・秋田県美術展覧会の開催
・「あきたの文芸」事業の実施

取組④：次代の文化を担う青少年の育成支援

次代の秋田の文化を担う青少年を育成するため、若者の発表機会の充実や文化活動への助成、国際文化交流活動への支援を行うなど、若者の文化活動支援に取り組みます。

【主な取組】

・若者の国際文化交流事業の実施
・芸術文化振興基金補助金事業の実施（再掲）※施策３－３方向性③取組②
・青少年音楽コンクールの開催

方向性④：文化活動の拡充とにぎわい創出を図る新たな文化施設の整備の推進

取組：新たな文化施設の整備の推進

文化発信の強化とまちのにぎわい創出を図るため、秋田市と協働し、本県の文化振興の中核を担う新たな文化施設の整備を進めます。

【主な取組】

・コンベンション機能を備えた新たな文化施設の整備の推進

秋田県民会館（秋田市）

４　施策の数値目標

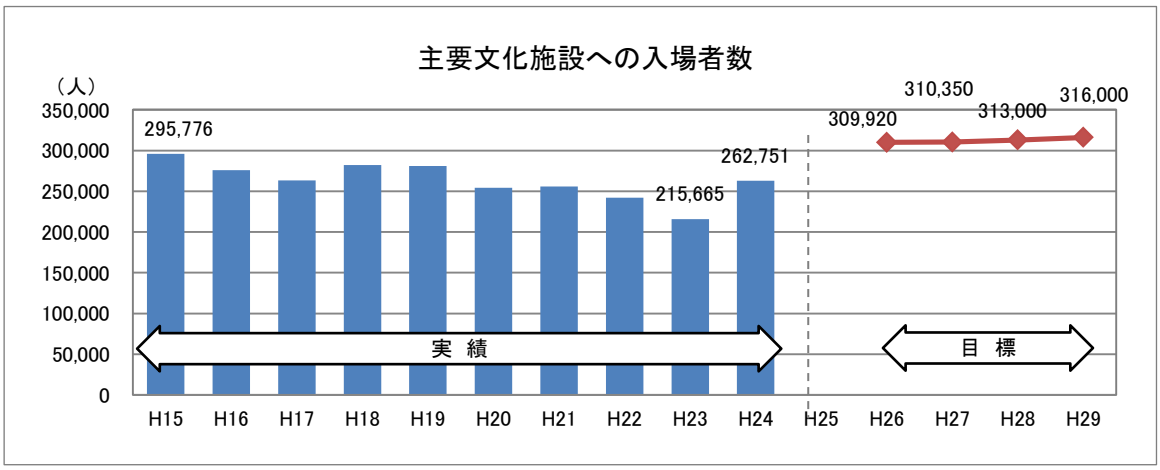
（１）代表指標

①主要文化施設への入場者数

県内の文化活動が盛んになると、県民が文化に触れる機会も増えると考えられることから、県の代表的な文化施設である県民会館大ホール、アトリオンホール、県立美術館の入場者数を指標とします。

（単位：人）

現状値(H24)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
262,751	309,920	310,350	313,000	316,000



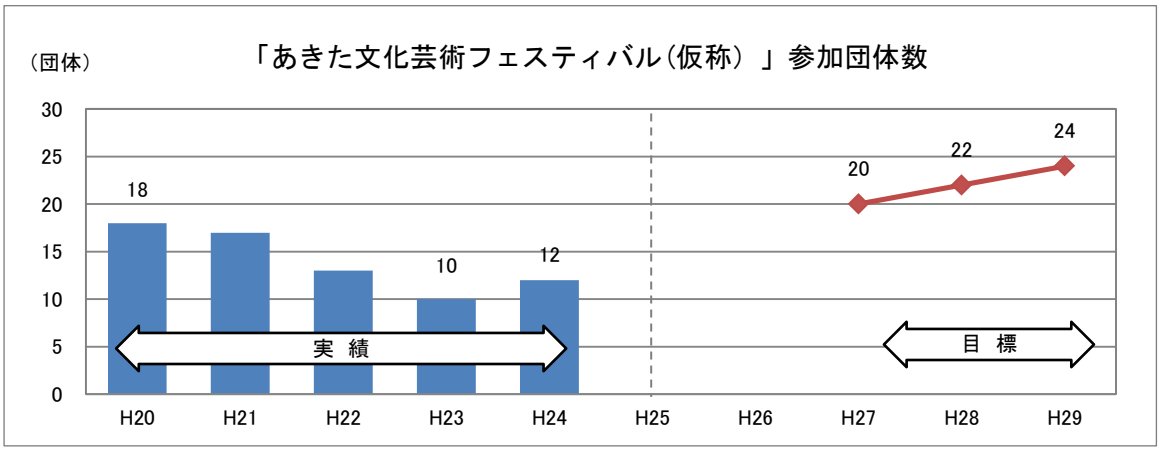
（出典）県・文化振興課調べ

②「あきた文化芸術フェスティバル（仮称）」参加団体数

県内文化団体の発表の場を充実させるとともに、後継者育成等に向けて、国民文化祭後の平成27年度に、現在の県民芸術祭を発展的に継承する「あきた文化芸術フェスティバル(仮称)」を創設することから、フェスティバルへの参加団体数を指標とします。

（単位：団体）

現状値(H24)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
12	―	20	22	24



（出典）県・文化振興課調べ

（２）関連指標

指　標　名	指標が示すもの	単位	現状値(H24)	目標値(H29)
秋田県民会館大ホール入場者数	実演芸術を鑑賞した県民等の数	人	167,772	170,000
「KAMIKOANI プロジェクト秋田」来場者数	美術を鑑賞した県民等の数	人	(H25)12,010	(H27) 12,000

施策３－４　「スポーツ立県あきた」の推進

１　施策のねらい

スポーツの振興を図るため、東京オリンピック開催等も見据え、選手の育成及び指導者の資質向上を図るとともに、ジュニア期からの一貫指導体制を確立します。

また、スポーツを通じて、県民が健康で生き生きとした生活を送るための環境を整えるほか、地域住民の誰もがいつでも気軽にスポーツができる、総合型地域スポーツクラブの設立及び安定した運営基盤づくりへの支援を行っていきます。

さらに、交流人口の拡大による地域の活性化を図るため、全国規模・国際規模のスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致を推進します。

２　施策の視点

スポーツの振興を図るため、ジュニア期からの育成や指導者の養成はもとより、幅広くスポーツを普及させていく人材を確保していくとともに、スポーツ施設の整備など、地域でスポーツ活動ができる環境づくりを促進するほか、東京オリンピック等の活用も視野に入れ、全国規模・国際規模のスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致など、スポーツを活用した地域のにぎわい創出を更に進めます。

このため、次の４つの方向性に取り組みます。

３　施策の方向性と取組

方向性①：全国や世界のひのき舞台で活躍できる選手の育成と強化

取組①：ジュニア期からの一貫指導体制の確立による競技力向上方策の推進

トップアスリートを育成するため、スポーツ団体や関係機関、地域との連携を強化し、ジュニア期からトップレベルに至る体系的・総合的な一貫指導体制を構築します。

【主な取組】

・競技力向上連絡協議会の開催と、選手強化事業の推進
・ジュニアアスリートの発掘・育成事業の推進と、一貫指導体制の構築・活用
・全国大会等で活躍できるスポーツチームへの支援

取組②：スポーツ指導者及び審判員等の確保・育成と体罰等のない育成環境の確立

選手の夢を育み、その能力を十分に開花させることのできる優れた指導者の確保・育成と、審判員等の養成を図るとともに、体罰等の根絶へ向けた取組を推進します。

【主な取組】

・指導力のある部活動指導者の確保と適正配置
・トップアスリートの活用推進と、県内での受け皿の整備
・体罰やハラスメントのない育成環境の確立と革新的なコーチングの推進

トレーニング研修

取組③：最新科学を活用した総合的な医・科学サポート

競技力向上を推進する拠点体制として、県スポーツ科学センターを整備し、ナショナルトレーニングセンター（ＮＴＣ）、国立スポーツ科学センター（ＪＩＳＳ）、大学等との連携強化を図り、最新のスポーツ医・科学を活用した選手強化支援体制を構築します。

【主な取組】

・スポーツ情報収集・分析・研究機能の充実
・トレーナー等のサポートスタッフの育成と確保
・スポーツ医・科学を活用した総合的なサポート体制の整備

取組④：ドーピング防止などスポーツ界における透明性や公平・公正性の向上

フェアプレー精神に基づいたドーピング防止活動の推進とスポーツ団体のガバナンスを強化し、組織運営の透明化を図るため、アスリート等に対する研修や環境の整備を行います。

【主な取組】

・学校と連携したドーピング防止教育の推進
・国民体育大会等への出場選手・役員に対するアンチ・ドーピング研修機会の充実
・各競技団体等の事務局体制強化のための支援

方向性②：ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

取組①：青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充

総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）やスポーツ推進委員との連携を図り、青・壮年期のスポーツ実施率向上を目指し、地域のニーズに応じたスポーツ活動の場の設定や機会の充実に取り組みます。

【主な取組】

・スポーツ推進委員との連携によるスポーツ実態調査の実施
・総合型クラブを活用した子育て世代等の運動機会の確保
・スポーツに身近に親しむことのできる交流の場の設定

総合型クラブでのスポーツ教室

取組②：高齢者がはつらつとスポーツに参加できる社会の実現

関係団体との連携により、高齢者の運動・スポーツ参加機会の拡充や指導者の育成を図り、福祉と連動した健康づくりの普及・啓発を推進します。

【主な取組】

・福祉と連動した健康づくりムーブメントの展開
・環境・嗜好・適性に応じた運動教室の開催及び支援
・「円熟スポーツ指導者（仮称）」の育成と活用

取組③：障害者が生き生きとスポーツに参加できる環境の整備

障害者スポーツ指導員の育成及びスキルアップを図り、関係機関・団体とともに障害者スポーツの普及・発展を図ります。

【主な取組】
・指導者の育成及び活用
・障害者スポーツ大会・教室の開催
・スポーツ施設のバリアフリー化の促進

取組④：健康づくり運動の推進

生活習慣として、運動を含む活発な身体活動を行う習慣の定着を目指す取組を推進し、身近で自分に適した運動を行う人の増加を図ります。

【主な取組】
・健康づくり県民運動の展開
・運動習慣定着化のための取組の推進
・チャレンジデーなど地域のイベント等をきっかけとした運動機会の創出

取組⑤：スポーツを支える組織の充実・連携やボランティア団体の育成

スポーツ振興を支える広域スポーツセンター機能の充実や関係団体との連携を強化するとともに、スポーツライフの創出やスポーツ大会・イベントの運営をサポートするボランティア団体の育成とネットワークづくりを目指します。

【主な取組】
・総合型クラブの安定した運営基盤づくりへの支援
・地域スポーツとトップスポーツの連携・協働に向けた支援
・スポーツを支える各組織の活動基盤の充実と連携

取組⑥：スポーツにおける安全の確保

県民が安心してスポーツ活動を行うことができるよう、環境の整備とともにスポーツによって生じる事故・外傷・障害等の防止や軽減を図ります。

【主な取組】
・スポーツ施設等の安全対策の充実と安全講習会の実施
・スポーツ医・科学を活用した研修会の開催
・ＡＥＤの普及推進

方向性③：スポーツを活用した地域の活性化

取組①：スポーツを活用した地域づくりの推進

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の開催も視野に入れた、スポーツ大会やスポーツイベント、合宿等の誘致を推進し、スポーツを活用したまちづくりや、地域のにぎわいの創出を図ります。

【主な取組】
・大規模スポーツ大会・集客力のあるスポーツイベント等の誘致・開催
・市町村や関係団体等と連携した県外からのスポーツ合宿等の誘致
・オリンピック等の世界的なスポーツ大会に向けた海外からの事前合宿等の誘致

取組②：スポーツによる交流人口の拡大

スポーツによる交流人口の拡大を推進するための組織体制の整備や人材の育成、地域の魅力あるスポーツコンテンツづくり、積極的なスポーツ情報の発信、全国規模のスポーツ大会等の開催と連動した観光誘客の推進により、スポーツによる交流人口の拡大を図ります。

【主な取組】

・スポーツによる交流人口の拡大を推進するための連携組織の設立支援
・新たなスポーツコンテンツの発掘及び開発支援
・全国規模のスポーツ大会・スポーツイベントの開催と連動した観光誘客の推進

取組③：トップスポーツチームと地域との連携・協働の推進

トップスポーツチームの支援により、地域の一体化やスポーツ人口のすそ野の拡大、県外遠征等での秋田の情報発信を図ります。

秋田ノーザンハピネッツ

【主な取組】

・試合会場の使用料減免や応援機運を高めるためのイベント等の実施、ボランティア養成等への支援
・スポーツ教室やクリニックの開催など、地域密着活動の推進
・アウェー会場での特産品販売、観光ＰＲやユニフォーム等による秋田の情報発信

方向性④：住民が主体的に参画できる地域のスポーツ環境の整備

取組①：コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進

総合型クラブを中心とした地域スポーツクラブがスポーツを通じて地域コミュニティの核となれるよう、地域の実情に応じて各市町村に複数の総合型クラブを育成します。

また、総合型クラブの安定した運営基盤づくりを支援できる総合型拠点クラブを、県北・県央・県南地区に各１か所以上育成します。

【主な取組】

・地域スポーツクラブの育成支援
・総合型拠点クラブの育成支援

取組②：地域のスポーツ指導者等の充実

地域住民のニーズを踏まえながら、スポーツ指導者の養成を推進するとともに、地域のスポーツ指導者の有効活用を図ります。

【主な取組】

・スポーツ推進委員との連携によるスポーツ実態調査の実施（再掲）※施策３－４方向性②取組①
・地域のスポーツ指導者の育成と活用
・体罰やハラスメントのない育成環境の確立と革新的なコーチングの推進（再掲）
※施策３－４方向性①取組②

取組③：地域スポーツ施設の充実

各地域のスポーツ施設の設置者や指定管理者と連携し、施設の有効活用を図るとともに、整備・改修を行うことによって利便性の高い施設の充実を図ります。

【主な取組】
・大規模なスポーツ大会を実施するためのスポーツ施設の整備・改修
・市町村合併に伴う公共施設の空きスペースや、廃校等の活用
・学校体育施設の開放に係る運営方法の検討と、学校・地域の共同利用化の推進

取組④：スポーツに関する表彰制度の整備

スポーツの文化的価値を高め、スポーツへの主体的な関わりを奨励するための表彰制度を整備します。

【主な取組】
・スポーツ選手の雇用や、職場でのスポーツ大会実施など、スポーツに貢献した企業等の表彰制度の整備
・障害者スポーツ大会で活躍した選手や団体等の表彰制度の整備
・世界で活躍する選手に対する表彰制度の見直し

取組⑤：地域スポーツと企業・大学等との連携

企業や大学が持つスポーツの人材や施設、研究成果等を、地域スポーツにおいて活用するための連携・協働の推進を図ります。

【主な取組】
・総合型拠点クラブと企業・大学の連携・協働
・県スポーツ科学センターと企業・大学の連携・協働
・企業・大学が有する優れたスポーツ人材の活用

４　施策の数値目標

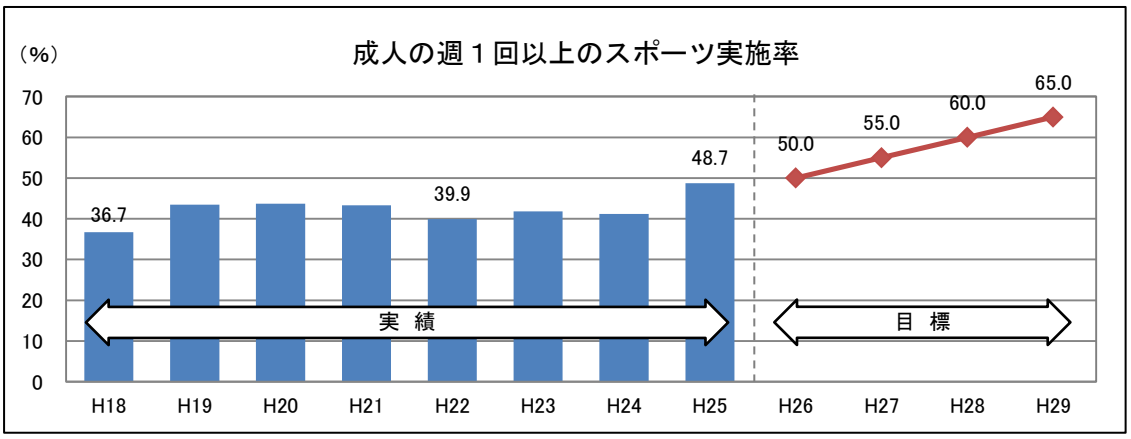
（１）代表指標

①成人の週１回以上のスポーツ実施率

ライフステージに応じたスポーツへの参加を促進する機会や環境の整備を推進し、県民のスポーツ実施率の向上を目指すことから、「成人の週１回以上のスポーツ実施率」を指標とします。

（単位：%）

現状値(H25)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
48.7	50.0	55.0	60.0	65.0



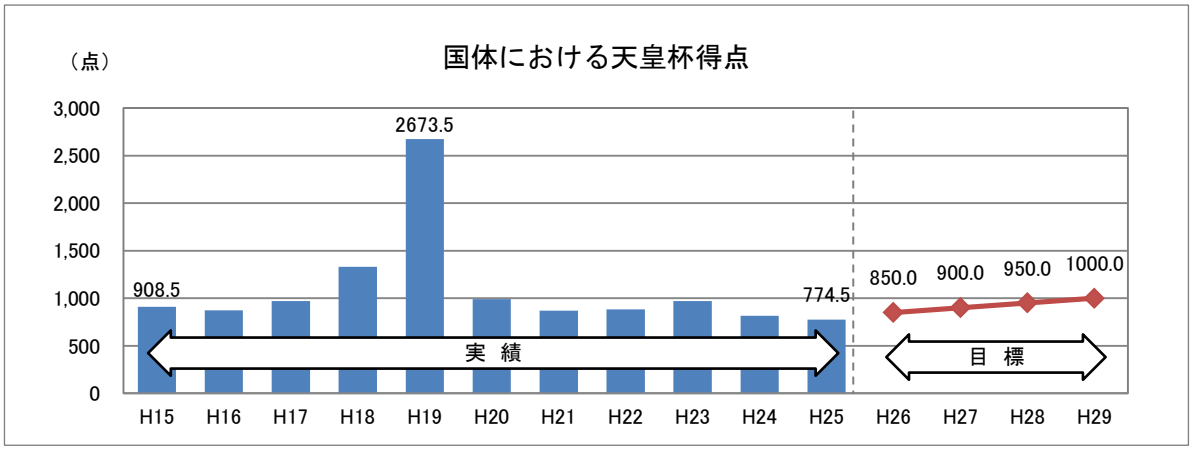
（出典）県・スポーツ振興課「秋田県スポーツ実態調査」
※H17 以前は統計データなし

②国体における天皇杯得点

県民に夢や希望を与えるアスリートを育成し、スポーツ王国復活を目指すことから、「国体における天皇杯得点」を指標とします。

（単位：点）

現状値(H25)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
774.5	850.0	900.0	950.0	1,000.0



（出典）日本体育協会調べ

（２）関連指標

指　標　名	指標が示すもの	単位	現状値(H25)	目標値(H29)
皇后杯得点	女子競技力の向上の度合い	点	371.5	490.0
国体少年種別得点	少年競技力の向上の度合い	点	159.0	240.0
30～39歳女性の週間行動者比率	30歳代女性のスポーツ実施状況	%	35.6	50.0
40～49歳男性の週間行動者比率	40歳代男性のスポーツ実施状況	%	47.5	60.0
スポーツ観戦出費者比率	プロスポーツ等の観戦状況	%	30.7	50.0
スポーツボランティア参加比率	スポーツ振興等を支える態勢の整備状況	%	34.1	50.0

施策３－５　県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進

１　施策のねらい

広大な県土を有し積雪寒冷地でもある本県が、少子高齢化が急激に進み人口が減少していく中で、県全体の活力を維持し地域として自立していくためには、住民の生活や経済活動、地域間の交流等を支える交通網の整備、とりわけ道路ネットワークの整備が不可欠です。

このため、高速道路ネットワークの早期完成を目指すとともに、地域間の交流を支える主要幹線道路や住民生活を支える道路等の整備を促進します。

２　施策の視点

都市間や観光地間、近隣県等との時間的距離を縮め、県土のコンパクト化を図り、都市機能や土地等の利用効率を高めるとととともに、空港、港湾、高速ＩＣ等へのアクセスを強化するなど、道路網の整備、交通ネットワークの利便性向上を図ります。

このため、次の４つの方向性に取り組みます。

３　施策の方向性と取組

方向性①：高速道路ネットワークの早期完成

取組：高速道路の整備促進

県内高速道路の早期全線開通に向け、日本海沿岸東北自動車道や東北中央自動車道の計画的な整備を促進します。

【主な取組】

・日沿道「鷹巣大館道路」「遊佐象潟道路」「鷹巣西道路（県施工区間）」等の整備促進

・東北中央道「昭和～雄勝こまち」間の整備促進

日本海沿岸東北自動車道
にかほＩＣ付近

方向性②：高速道路を補完する幹線道路ネットワークの形成

取組①：地域高規格道路の整備促進

高速道路と一体となって地域間の交流を図る、質の高い地域高規格道路について、地域の実情やニーズを踏まえながら、その整備に向けた取組を強化します。

【主な取組】

・「盛岡秋田道路」「大曲鷹巣道路」の整備促進

地域高規格道路「盛岡秋田道路」
（角館バイパス）

取組②：主要都市間を結ぶ幹線道路の整備促進

主要都市間の移動時間を短縮し、観光地間や地域間交流を活発化させる幹線道路について、その整備を促進します。

【主な取組】

・国道７号（下浜道路、秋田南バイパス）、国道13号（河辺拡幅）等の整備促進

方向性③：地域間ネットワークの構築

取組①：生活圏を結ぶ幹線道路の整備推進

地域の生活圏単位での交流を活発化させる幹線道路について、その整備を推進します。

【主な取組】

・国道108号（前杉バイパス）、国道285号（中津又、滝ノ沢バイパス）等の整備推進

国道 285 号（五城目町中津又バイパス）

取組②：高速ＩＣなど交通結節点へのアクセス道路の整備推進

高速ＩＣ、港湾、空港等の交通結節点等へのアクセスを向上させる道路について、その整備を推進します。

【主な取組】

・県道象潟矢島線（荒屋妻工区）の整備推進

・新たなＩＣ整備への支援

方向性④：生活道路の機能強化

取組：生活道路の整備推進

地域の生活圏内における交流を活性化させるほか、日常生活における安全・安心の確保や利便性を向上させる道路について、その整備を推進します。

【主な取組】

・県道鷹巣川井堂川線（杉山田工区）、県道秋田八郎潟線（町村工区）等の整備推進

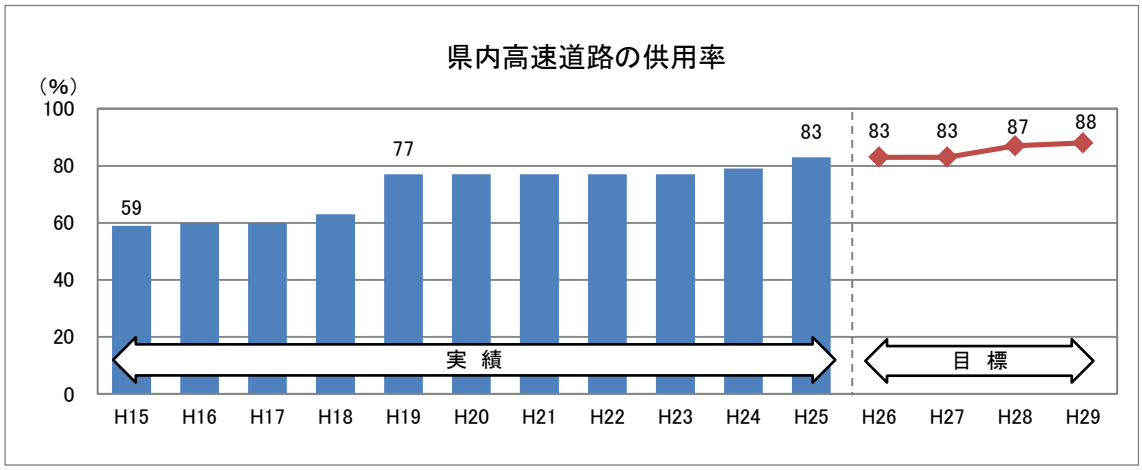
４　施策の数値目標

（１）代表指標：県内高速道路の供用率

取組効果を直接的に示すことができる、県内高速道路の計画延長に対する供用済延長の率を指標とします。

（単位：%）

現状値(H25)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
83	83	83	87	88



（出典）県・道路課調べ

（２）関連指標

指　標　名	指標が示すもの	単位	現状値(H24)	目標値(H29)
県管理国道改良率	県が管理する国道の改良状況	%	93.3	94.7

施策３－６　交通ネットワークの利便性向上と地域交通の確保

１　施策のねらい

人の交流や物流を円滑にし、県民生活や経済活動等を支えるため、総合的な交通体系の整備を促進し、交通機関の利便性向上を図るほか、首都圏等や海外からのアクセスを向上するため、国内外の航空路線の維持・充実により、航空ネットワークの機能を強化します。

また、地域交通を確保するために、生活バス路線など地域の利用実態に合った交通システムの再構築を促進するとともに、「秋田内陸縦貫鉄道」及び「由利高原鉄道」については、持続的運行と継続的営業、鉄道施設の安全確保を図るほか、観光誘客に資する新しい交通体系の構築を目指します。

２　施策の視点

人や物の円滑な移動を可能とする仕組みづくりや環境を整え、交通機関のネットワークを強化するとともに、国内航空路線や韓国国際航空路線を活用し、秋田と首都圏・海外との時間的距離や心理的距離を短縮し、交流人口の拡大を支えていきます。

また、自家用自動車の普及と人口減少に伴い、生活路線バスや第三セクター鉄道等の利用者の減少傾向に歯止めがかからない中で、通学、通勤、通院、買い物等の日常生活に不可欠な公共交通の維持・確保を図るとともに、本県の観光振興における交通アクセスの課題の重要性にかんがみ、二次交通アクセスの向上を図るほか、観光資源としても活用を進め、利用を促進していきます。

このため、次の３つの方向性に取り組みます。

３　施策の方向性と取組

方向性①：交通機関の利便性向上と航空ネットワーク機能の強化

取組①：総合的な交通体系の促進

各交通機関が効果的に機能を発揮できるよう、高速交通ネットワークの強化と利便性の向上に取り組みます。

【主な取組】

・重点的に実施すべき交通政策の方向性のとりまとめ

・高速交通体系の実現など各交通事業者に対する利便性向上等のための協力や働きかけの推進

取組②：鉄道の充実強化

沿線市町村や鉄道事業者と協力しながら利用促進に取り組み、鉄道ネットワークの強化と利便性の向上を目指します。

【主な取組】

・秋田新幹線や在来幹線鉄道の更なる高速化とネットワークの強化に向けた働きかけと利用促進

・ローカル鉄道の利便性の向上に向けた働きかけと利用促進

取組③：国内航空路線の維持・拡充

地元市町村や関係機関と協力しながら利用促進に取り組み、国内航空ネットワークの維持及び拡充を図ります。

【主な取組】

・県外における空港のＰＲによる誘客の拡大及び秋田の認知度向上
・空港と目的地を結ぶ二次アクセスの利便性の向上と情報発信
・利用促進協議会など関係団体と連携した利用促進

取組④：韓国国際航空路線の維持

航空会社や旅行会社など関係団体との連携を強化しながら、利用者の拡大を図り、国際定期便の安定的な運航を目指します。

【主な取組】

・学校、民間団体に対する支援
・利用促進協議会など関係団体と連携した利用促進
・韓国をはじめとする海外からの誘客促進による利用者の拡大

韓国国際定期便

取組⑤：観光に資する新たな交通体系の構築

観光客の利便性や快適性の向上による誘客を促進するため、官民一体となった二次アクセスの確保や周遊観光ルートの構築を図ります。

【主な取組】

・官民一体となったレンタカーや乗合タクシー等の利用しやすい環境整備の推進
・交通拠点と主要観光地との間や主要観光地間における二次アクセスの整備の推進
・観光客に分かりやすい案内標識の設置など情報提供の充実

県南を巡る「こまち蔵しっく号」
※角館や増田など県南の観光地を回る周遊バス

方向性②：第三セクター鉄道等の持続的運行の確保と活用促進

取組①：第三セクター鉄道の運行の確保

通学、通勤等の生活利用の確保や、公共交通空白地域の発生防止の観点から、第三セクター鉄道の持続的な運行を確保します。

【主な取組】

・秋田内陸縦貫鉄道及び由利高原鉄道の運営費に対する支援
・第三セクター鉄道の鉄道施設の整備費に対する支援

由利高原鉄道の新型車両

取組②：鉄道等を活用した広域観光の推進

第三セクター鉄道等を観光資源として活用し、鉄道等を利用する県内外の旅行者の増加に取り組みます。

【主な取組】

・沿線市町村との協働による観光利用の促進
・東北各県、首都圏からの観光客の誘客
・鉄道を活用した体験型旅行企画の推進

秋田内陸縦貫鉄道

方向性③：生活バス路線など地域の実情に合った交通手段の確保

取組①：地域の実情に合った新しい地域公共交通の構築

地域の特性や実情を踏まえた地域公共交通を構築し、誰もが安心して暮らせる日常生活の移動手段を確保します。

【主な取組】

・地域公共交通の再構築を推進するための市町村への支援

取組②：生活バス路線等の維持・確保

地域内の生活交通を確保するため、路線バスや市町村が行う多様な運行形態に対して支援します。

【主な取組】

・生活バス路線等への支援
・市町村が主体となるコミュニティ交通への支援

能代市マイタウンバス

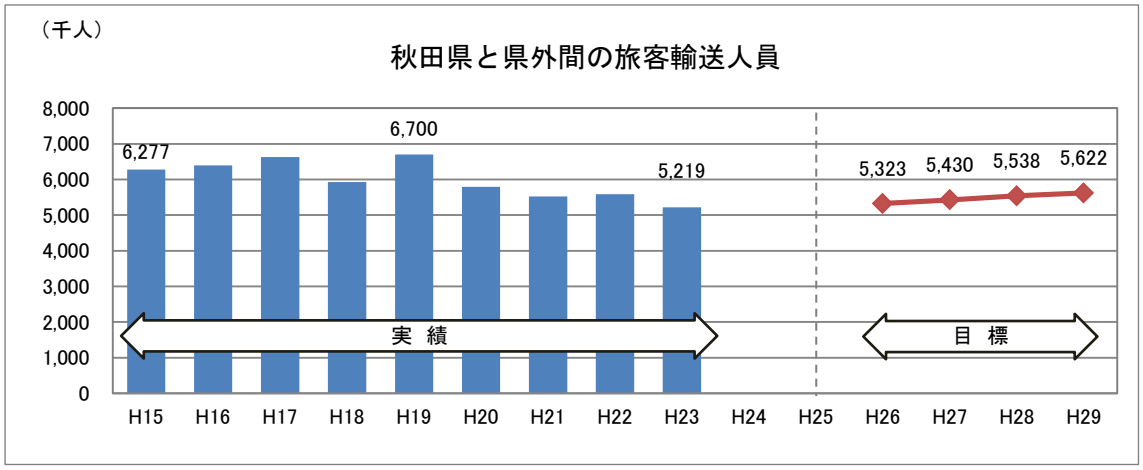
４　施策の数値目標

（１）代表指標：秋田県と県外間の旅客輸送人員

交流の活性化を支える交通ネットワークの充実を図ることとしており、本県と県外間の交通機関の利用者数を示す「旅客輸送人員」を指標とします。

（単位：千人）

現状値(H23)	目標値(H26)	目標値(H27)	目標値(H28)	目標値(H29)
5,219	5,323	5,430	5,538	5,622

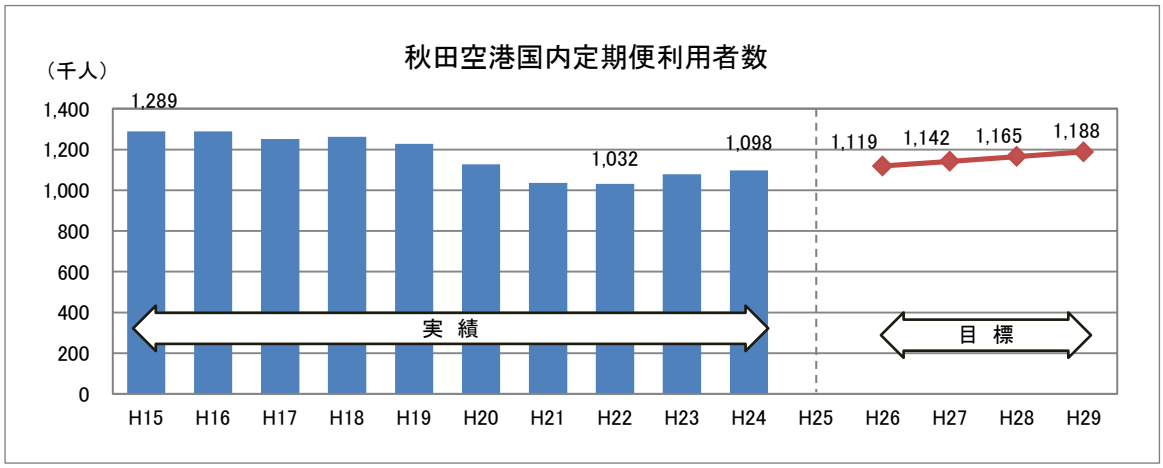


（出典）国土交通省「旅客地域流動調査」
※H24 分は平成 25 年度末に公表予定

（２）関連指標

指　標　名	指標が示すもの	単位	現状値(H24)	目標値(H29)
秋田空港国内定期便利用者数	国内航空路線の利用状況（秋田空港）	千人	1,098	1,188
大館能代空港定期便利用者数	国内航空路線の利用状況（大館能代空港）	千人	104	112
国際定期便利用者数	国際航空路線の利用状況（秋田空港）	人	29,127	29,127
第三セクター鉄道の利用者数	第三セクター鉄道の利用状況	人	645,117	645,117
乗合バス免許キロ数	乗合バス路線ネットワークの状況	km	4,264	4,264

◎主な関連指標のグラフ



（出典）県・交通政策課調べ